

嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体像（案）

人口ビジョン

総合戦略（2015～2019年度の5年間）

中長期展望

I. 人口の現状分析

2010年(国勢調査)
28,984人

II. 人口の将来展望

2060年
【目標人口】
20,145人

合計特殊出生率
2020年に1.77
2040年に2.07

人口移動率
2030年までにゼロ

基本目標

1. 嬉野市に住みたい・行きたい “ひと”の流れをつくる

- ◆交流人口（観光客数）
2,258千人（2019年）
- ◆人口の社会減の縮小
▲99人（H26：▲135人）

施策の基本的方向

- ・観光客の誘致促進・国際交流活動の推進
- ・移住支援及び定住支援
- ・文化の薫るまちづくりの推進
- ・人と地域が元気になるスポーツの推進
- ・新幹線を生かしたまちづくりの推進
- ・ふるさと教育の推進

具体的な施策（主な施策）

- 「温泉」、「食」、「自然」などを活用した新たな観光資源や魅力の創出
- 定住奨励制度の拡充、大都市圏での相談会開設、シティプロモーション動画等の制作
- 県内外から多くの来場者を呼べる演奏会、舞台芸術、展覧会等のイベントの誘致及び開催
- 「嬉野学指導資料集」の活用による郷土を愛する心の育成等のための取組の充実

2. 嬉野市で働きたい “しごと”をつくる

- ◆新規雇用者数
180人（5年間累計）

- ・企業誘致ビル整備による新たな雇用の創出
- ・地場を支える市内企業への支援充実
- ・次世代を支える起業支援の推進
- ・魅力ある地域商工業の創造
- ・うれしの茶の販路・需要開拓
- ・活力ある担い手の育成と農業後継者の確保
- ・“うれしのブランド”づくりと“稼ぐ”農業への取組

- 企業誘致ビルの整備、企業誘致支援制度の拡充、佐賀県などと連携した積極的誘致活動
- 市内企業に対する支援制度の拡充、事業所への女性や障がい者の雇用促進・啓発
- 商店街等活性化・交流拠点づくり、空き店舗活用による新規開業等の事業者支援
- ジェットロ佐賀など関係機関と連携した「うれしの茶」の海外販路開拓

3. 嬉野市で結婚・出産・子育てしたい “まち”をつくる

- ◆出生数
1,100人（5年間累計）
- ◆合計特殊出生率
1.75（2019年）

- ・結婚支援の充実
- ・妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援
- ・安心して子どもを育てられる環境の確保
- ・特色ある教育の推進と確かな学力の育成

- 独身者の魅力向上を図りつつ、男女の出会いの場の創出
- 不妊治療（体外受精・顕微授精）、不育症治療費助成制度の実施
- 地域子育て支援センターの充実、相談や交流、情報提供による育児不安や孤立化の緩和
- 『嬉野市副読本「生きる力」の教科書』（改訂版）の活用による規範意識の育成

4. 嬉野市で安心して暮らしたい “地域”をつくる

- ◆自主防災を実施する地域コミュニティ数
全7地区
- ◆健康寿命延伸（H23 男性79.00歳
女性84.02歳）

- ・コミュニティ活動の促進
- ・地域の力で安全・安心のまちづくり
- ・空き家対策の推進
- ・健康長寿のまちづくり
- ・高齢者が元気で住み続けられるまちづくり
- ・地域における身近な移動手段の確保

- 市内7地区の地域コミュニティの自主的・積極的な各種コミュニティ活動の支援
- 住民へ危険性の認識と防災、避難に関する地元説明会の実施
- 地域での健康意識の向上による特定健康診査・特定保健指導実施率向上の推進
- 地域と地域を結ぶための既存の路線バス、乗合タクシーの存続